



平泉小学校

☎46-2202

一致団結！全力でやり遂げた運動会

5月25日、運動会が行われました。除染作業によって、校庭の放射線量が基準値を大幅に下回ったことで、昨年度は見合わせた組み体操が復活するなど、ほぼ例年通りのプログラムで実施することができました。

練習期間は寒暖の差が激しい日が続き、子どもたちは体調を整えるのに苦労しましたが、気力をふりしぼって最後の調整に臨み、練習で培った自信とほのかな緊張感を交錯させながらの本番となりました。

結果はもちろん大成功。真剣に走る姿がカッコよかった徒競走。低学年の愛くるしい表現「に



真剣な表情で技を決めた組体操



喜びを分かち合う児童

んじやりばんばん。未来永劫を見事に表現した組み体操。学年で工夫を凝らしたチャンスレース等々。勝ち負けはつきましたが、大きなことをやり遂げた子どもたちは、みな満足げな表情を浮かべていました。

もちろん「もったいずればよかった」という思いが残った部分もありましたが、それらも次の課題に向けて子どもたちがさらに一歩踏み出すための活力となるよう、これからの指導にしっかりと生かしていきたいと思えます。熱心にご観覧ご声援いただき、ありがとうございました。

長島小学校

☎46-2203

とどけ、希望の音...

去る5月3日、晴天のもと「藤原まつり」が開催されました。

今年は「すべてに感謝し、長島平泉に元気を与えよう」「地域とのつながりを高め、明るい平泉にしよう」を合奏団のテーマとし活動しています。昨年は雨天のため縮小されたお祭り。世界遺産登録の影響もあり、日本中・世界中から観光客が訪れました。

毛越寺から平泉駅前には、本行列と子どもたちの演技を見ようと、保護者や観光客が多数集まりました。緊張しながらも、堂々とマーチングの演奏を練り広げました。

昨年度、2月から心の準備をしてきたとはいえ、新学期になりほんの1カ月。登校後、リーダーを中心に自主的な練習を繰り返し、フォーメーションを確



見事な演奏を披露する長島小合奏団

かなものにしてきました。よりよい演奏を目指して取り組んだ長島小学校合奏団の演奏は、昨年同様、被災地にも希望の音として響いたに違いありません。

5月18日晴天の下、平泉中学校大運動会が行われました。平中ダイブ、平中タワーの大技も成功し、男子全員の雄叫びが校庭に響き渡りました。女子の全員による「よさこいソーラン」では、動きのそろったあでやかな舞いを披露しました。男子も一緒に踊る姿は笑顔にあふれ、会場全体がとほほえましい雰囲気になりました。団結を目指して一人一人が役割を持って全力で取り組む運動会は成功に終わりました。次は、地区中総体への挑戦が続きます。

平泉中学校

☎46-2205

更なる高みへ挑戦した運動会

している姿を見せてくれました。平中ダイブ、平中タワーの大技も成功し、男子全員の雄叫びが校庭に響き渡りました。女子の全員による「よさこいソーラン」では、動きのそろったあでやかな舞いを披露しました。男子も一緒に踊る姿は笑顔にあふれ、会場全体がとほほえましい雰囲気になりました。団結を目指して一人一人が役割を持って全力で取り組む運動会は成功に終わりました。次は、地区中総体への挑戦が続きます。



笑顔にあふれたよさこいソーラン

夢を持つこととすばらしい!! 平泉小で「夢の教室」

日本サッカー協会のところプロジェクト「夢の教室」が5月10日、平泉小学校で開催されました。

5年生児童が、女子バレーボール元全日本代表の大山加奈さんから、夢や目標を持つことの大切さ、夢に向かって頑張ることの大切さを学びました。

体育館での「ゲームの時間」では、大山さんが強烈なスパイクを披露すると、児童からは歓声が上がりました。その後、元Jリーガーの式田高義さんの指導でボールを使った

5年A組の児童。みんなでたくさんの夢を発表しました。



ゲームなどを行い、仲間と協力することの大切さを学習しました。教室に移動しての「トークの時間」では大山さんがこれまでに体験した夢の軌跡をたどり、児童と一緒に夢について語り合いました。大山さんは、小中高の各年代で日本一に輝き、高校生で全日本入りを果たす一方で、バレーボールをやめたいと思った出来事や挫折があったことを告白。「家族や友人、チームメイトの支えがあり、病気がけなどの困難を乗り越えることができた。感謝の気持ちを持つことが夢をかなえる秘訣」と児童に伝えました。授業の最後に児童たちは、「バレーボール選手」「数学の先生」「女優」「プロサッカー選手」など自分の夢を発表し、夢の実現に向け努力することを誓っていました。

授業を終えた大山さんは、「平泉小学校の子どもたちは純粋で素直で、一生懸命だなというのを感じました。話も



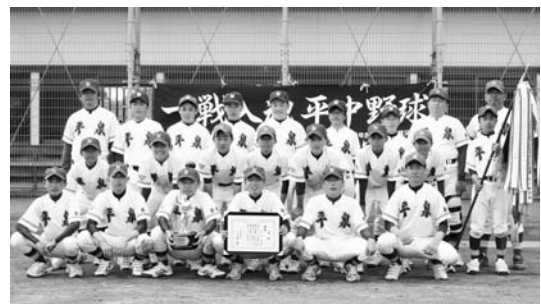
5年B組の児童。みんなのキラキラした目が印象的でした。

すごくしつかり聞いてくれたし、何より意見を手を挙げて言えることが素晴らしいと思いました」と印象を話していました。また「夢の力というのはすごく大きい。その夢に向かって感謝の気持ちを忘れず頑張ることを努力してほしい」と町内の子どもたちにもメッセージを寄せていました。同教室は、現役のスポート選手やOBなどが、講義と実技を通じて子どもたちに夢を持つことなどの大切さを伝えるもので、本年度から小学生のキャリア教育の一助として教育委員会導入した事業。来年度は長島小学校を予定しています。

平泉中が2年ぶりに優勝 両磐地区選抜中学校野球大会

第26回両磐地区選抜中学校野球大会兼第11回山内一弘杯野球大会が5月3、4日の両日、一関市川崎町で開催され、当町の平泉中が2年ぶり2度目の優勝を成し遂げました。

トーナメント制で行われた同大会には、両磐地区から10校が出場。同校は初戦の室根中に1-0で勝利すると、準決勝では花泉中に終始リードを許さず快勝。決勝では藤沢中に投打で圧倒し、見事優勝の栄冠を勝ち取りました。



2年ぶりに優勝を果たした平泉中メンバー

試合結果は次の通りです。
【準決勝】平泉5-2花泉
【決勝】平泉10-3藤沢

スポ少紹介 平泉卓球スポ少



卓球スポ少のメンバーと先輩の中高生

会に出場させたい」と今後の成長に期待を寄せていました。